

『第三次おかやま夢づくりプラン』を読み解く会

将来を担うひとづくり

みんなのがっこう♪

法学部三回生

秋山恵里奈 若林貴史 脇本弘正

環境理工学部一回生 中川量太

■教育を取り巻く社会状況の変化

1. 産業構造・雇用形態等の変化
2. 情報化の進展
3. 国際化の進展
4. 環境問題、資源エネルギー問題
5. 少子・高齢化、核家族化等の進行
6. 価値観や生活様式の多様化

■将来を担う人づくり—教育問題—

- ＜学力の状況＞

全国学力・学習状況調査の全国順位

小学校26位 中学校37位

- ＜豊かな心の育成をめぐる状況＞

学校内暴力行為の発生割合

■ 将来を担う人づくり—教育問題—

- <制度、情報の不透明さ>

学校が孤立している

- <地域での子供たちの活動>

地域と子供たちとのつながりが微弱化

■教育に関する問題の原因

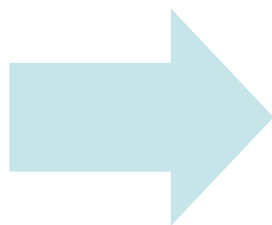
学力水準の低さ

原因：家庭での学習時間が少ない、学校の雰囲気

学校内での暴力行為、不登校、いじめ

原因：家庭環境に問題、学校が楽しくない

家庭環境
学校の雰囲気

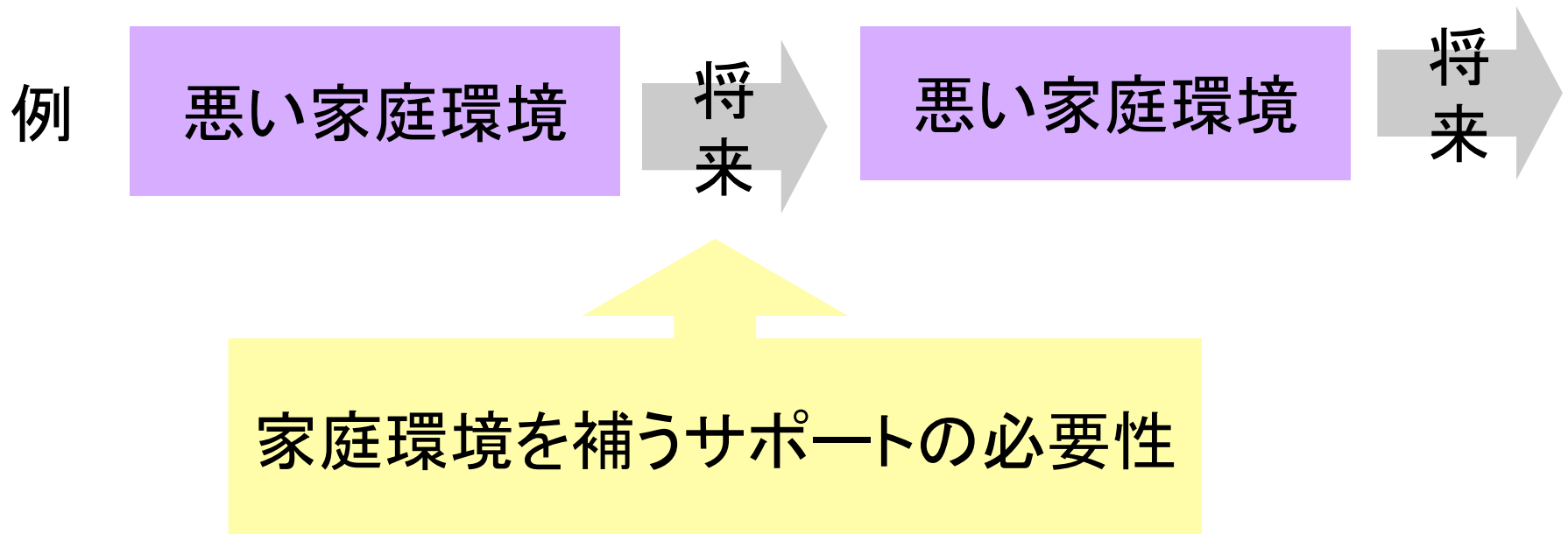


これらの改善により
2つの問題を解決できるのでは？

家庭環境が教育の問題として重要な要素

しかし、家庭環境の格差は避けられない・・・

現在の家庭環境(共働き、核家族、地域との関係の薄さ)がその理由では？



学校の雰囲気も問題として重要な要素
学校が単に勉強をする場となっているのでは？



学校の雰囲気の改善の必要性

そのためにできることは・・・？

大学や企業、NPOなどが教育に参加する
地域一体となった教育

協働プラン「みんなのがっこう♪」

市民が教育
の中へ介入

教育の体制
の問題点に
気づく

いじめや学力低下な
どの問題を地域で考
え、解決を図る

教育が開放
的な場になる

教育環境
の改善

明るく透明感のあ
る学校空間へ…



絵: 秋山

■「みんなのがっこう♪」を実現するために 大学の役割

- 専門的知識を活かした、指導要領外の教育
- 生徒の進路、学習のサポート
- スポーツ、遊びを通じて交流
- 学生が生徒の相談相手となる
 - ←年が近いからこそできること
 - 塾などとの相違点として期待が大きい

■「みんなのがっこう♪」を実現するために

企業・NPOの役割

- 生徒との交流のイベントの資金的、人材的な援助
- 教師に対するコンサルティングを行う

行政の役割

- 生徒と市民が集える場所の提供
- 積極的な人々の参加を促す、また制度設計

具体案1

放課後授業

- 高校、大学の空き教室等で大学生が高校生に勉強を教える
- 一般的な高校の授業や、入試に向けた対策等

メリット

- 教えるということを通し、大学生にも責任感が生まれる
- 年の離れた大人より、親近感を持ちながら気軽に勉強を教えてもらえる。
- 高校の先生、親、同年代の友達とは違った立場で相談にのれる
- 人間関係を学ぶ機会になる
- 親等の相談も可能にし、子供と年齢の近い大学生の意見を聞ける

注意

- ルールを決め、遵守する
- 始まりと終わりの時間をまもる。
- 適切な人間関係(敬語等)
- 先生等管理者

具体案2

進路相談会

- 入試以外にも進路に対する高校生の悩み、相談に乗る
- 入試の経験を経ている大学生から、面接対策等のサポート

メリット

- 間近に入試を体験したものの話を聞ける
- 同様に進路について考えた年の近い存在に相談できる

具体案3

共同のイベントを企画する

- 運動会、かるた大会、餅つき大会など

メリット

- 学校を勉強の場としてだけでなく、交流の場、楽しい場とすることができる

実際の例1

- 法教育



実際の例2

- ファジアーノの高校生への指導



実際の例3

- おにごっこサークル

